

科目名 Course Name	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ Community Development Ⅱ			ナンバリング No.	I4-003		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP4, DP5, DP6						
授業の概要と到達目標	<p>今日の社会問題や社会保障・社会福祉問題を抱える現代社会において地域福祉の推進は重要であり、社会福祉士の担う役割は大きい。本科目では、地域福祉を理解するために、地域福祉の地域福祉計画や多職種連携など地域福祉の展開について学ぶ。</p> <p>①地域福祉計画の意義・目的及び展開を例証することができるようにする。                  ②地域福祉の多職種及び多機関協働の意義と実際について例証することができるようにする。                  ③地域生活課題の変化と現状を述べることができるようにする。                  ④地域生活支援体制における社会福祉士の役割を築くことができるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、個別ワークやグループワーク、ディスカッションを取り入れる。						
学習成果	L01						
	L02	地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民の役割を述べるができる。					
	L03	地域福祉の推進方法について例証できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	C-Learning のリアクションにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:加山弾「ストーリーで学ぶ地域福祉」有斐閣ストウディア						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30				
レポート/作品							
発表							
小テスト							
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			70			
その他							
合計			30	70			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等)。
	事前・事後学習	事前:同科目 I の復習をしておく 事後:シラバスを再度読んでおく
2	授業内容	福祉計画の意義と種類
	事前・事後学習	事前:テキスト p 187 を読んでおく。 事後:テキスト p 202 を読み、配布資料の補足をする。
3	授業内容	市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容
	事前・事後学習	事前:居住地の地域福祉計画、地域福祉支援計画を取り寄せる。 事後:居住地の地域福祉計画、地域福祉支援計画を読む。
4	授業内容	福祉計画の策定過程と運用、実施と評価
	事前・事後学習	事前:テキスト p 207 を読んでおく。 事後:テキスト p 202～209 を読み、配布資料の補足をする。
5	授業内容	地域共生の実現に向けた多職種協働
	事前・事後学習	事前:テキスト p 113 を読んでおく。 事後:テキスト第 8 章を読み、配布資料の補足をする。
6	授業内容	福祉以外の分野と機関協働の実際(多職種協働を促進する仕組み)
	事前・事後学習	事前:テキスト p 133 を読んでおく。 事後:生活支援コーディネーターについて授業を踏まえまとめる。
7	授業内容	コミュニティソーシャルワーカーの仕事と福祉のまちづくりの実際／外部講師:菅沼裕子氏(栃木市社会福祉協議会 社会福祉士) [課題]
	事前・事後学習	事前:社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカーについて復習をしておく。 事後:資料を読みなおし、講義を振り返る。
8	授業内容	福祉以外の分野と機関協働の実際
	事前・事後学習	事前:テキスト p 245 を読んでおく。 事後:実習や身近で見聞き、体験した住民主体のまちづくりについて調べる。
9	授業内容	災害時における総合的かつ包括的な支援体制(非常時や災害時における法制度)
	事前・事後学習	事前:災害ソーシャルワークについて復習をしておく。 事後:授業内で実施した課題の振り返りをする。
10	授業内容	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援
	事前・事後学習	事前:事前配布の災害ボランティアセンターに関する資料を読んでおく。 事後:授業内ディスカッションの感想文を作成する。
11	授業内容	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望(地域福祉ガバナンス)
	事前・事後学習	事前:テキスト p 279 を読んでおく。 事後:居住地の地域課題をまとめておく。
12	授業内容	地域福祉と包括的支援体制と展望(地域共生社会の構築)
	事前・事後学習	事前:テキスト p 245 を読んでおく。 事後:居住地の地域課題解消のための案をまとめる。
13	授業内容	地域福祉におけるスーパービジョンとコンサルテーション
	事前・事後学習	事前:前回事後学習を実施。 事後:スーパービジョン、コンサルテーションの必要性を考察する。
14	授業内容	福祉教育
	事前・事後学習	事前:福祉教育の実施内容、成果を複数みつけておく。 事後:福祉教育のアイデアをまとめ計画書を作成する。
15	授業内容	後期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理し、見直しておく 事後:試験勉強